

■2020年3月期通期業績予想について

Q1：収入・費用について

A1：世界経済の減速や、国際情勢の不確実性の増加により、国際旅客・貨物事業の先行きに不透明感が増しております。第2四半期までの実績と、足もとの旅客・貨物需要の動向や市況前提の変更を踏まえ、国際旅客・国内旅客・貨物郵便の各収入予想を修正し、収入は前回予想（2019年4月26日公表）から470億円の減収としました。

また、営業費用については、下期の市況前提を変更したことにより燃油費330億円、燃油費以外140億円、費用合計470億円の減少としました。

燃油費以外140億円については、為替影響により約70億円の減少、マイル関連の販促費や収入連動費用等の減少により達成可能と考えております。台風19号のマイナス影響が入っていない等の要素もありますが、現時点で営業利益1,700億円を諦める状況にはなく、達成に向けて引き続き、売上最大に、経費を最小に努めてまいります。

市況前提は、シンガポールケロシンは1バレル90ドルから75ドル、為替は1ドル115円から110円に変更しました。

■国際線について

Q2：今後の単価の見通しは？

A2：日本発業務渡航需要の減少等により第2四半期累計で単価は0.7%減少しました。需要が伸び悩む中でレベニューマネジメントによるネットワーク収入極大化を目指して海外発需要を積極的に取り込んだため純単価が低下しております。この傾向は下期も継続する見込みです。今後も、イールドマネジメントの一層の強化により、収入の拡大に努めてまいります。

■国際線中長距離LCC「ZIPAIR Tokyo」について

Q3：発着枠は決まっているのか？

A3：今後決まり次第、お知らせいたします。2020年5月14日にバンコク線、2020年7月1日にソウル線に就航を予定しております。ゆくゆくは、アメリカ西海岸路線への就航を目指しております。

以上